

市のお金の使い方を CHECK! 令和元年度決算を審査

9月18日
認定

令和元年度の一般会計の決算状況は、歳入 378 億 2,685 万円、歳出 371 億 7,303 万円で翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は 5 億 8,175 万円となっています。市の予算が適正に使われたかどうか、また各事業が適正かつ効果的に行われているかどうか審査する「決算審査」を、9月7日から11日の5日間にわたり開催しました。

議会では各会計を厳しくチェックし、慎重な審査を行いました。委員会が出された意見の一部を紹介します。



議 = 議員
市 = 市長または市職員

歳入

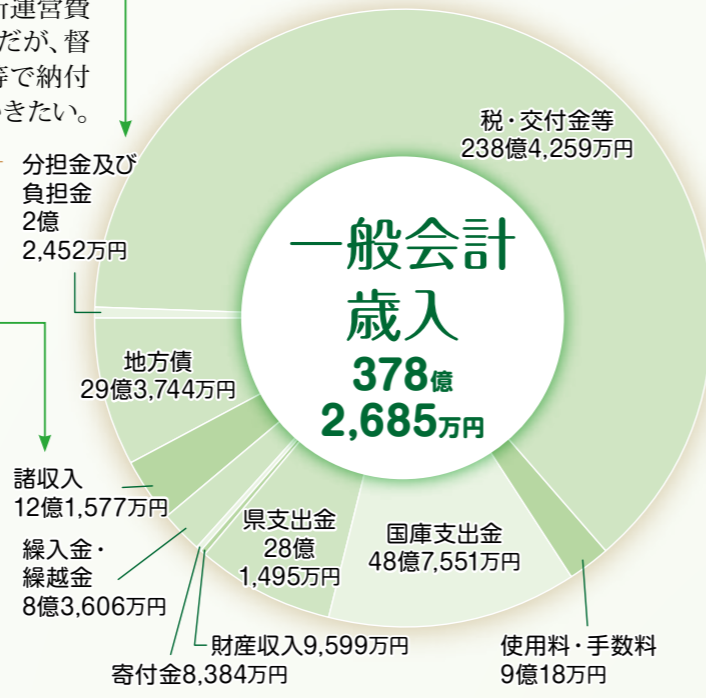
幼稚園保育料・保育所運営費保護者負担金

- 議 幼稚園保育料および保育所運営費保護者負担金の滞納繰越について、取り組み状況と今後の対策は。
- 市 幼稚園保育料の滞納繰越分は、残り1件となった。保育所運営費保護者負担金の滞納繰越分は、ほぼ10年を超えるものだが、督促を行い、少額であるが納めてもらっている。生活困窮等で納付が困難な場合など、不納欠損処分も視野に入れ整理していきたい。

説明 * 不納欠損処分: 滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、その金額を消滅させること。

広告料収入

- 議 収入が減少傾向にあるが、その要因と今後の対策は。
- 市 平成30年度に広告を掲載した企業が広報紙への掲載を令和元年度に手控えたと考えられる。また、ホームページの広告料収入も、SNSなどの多様な広告媒体により厳しい状況となっている。今後は、令和3年1月刷新予定の広報誌で、広告効果が上がるようにスペースを広げ掲載していきたい。ホームページについても、広報誌とセットで広告を掲載した場合、広告料を割引にするなどの特典を新たに設け、増収につなげていきたい。



決算全体

- 議 一般会計の決算状況は実質収支額約5億8,000万円の黒字となったが、黒字の結果でよしと考えるのか。市の財政状況など市民に理解してもらう必要があるのではないか。
- 市 実質収支額が増えることだけが良いということではない。市が目指す方向性や課題、将来の負担など様々な機会を通じて丁寧にわかりやすく周知するよう努めていく。

歳出

職員採用

- 議 職員の採用について、令和元年度の知的・精神障害者の市職員採用状況と今後の採用計画は。
- 市 令和元年度から知的・精神障害者の方にも採用試験を受験できるよう受験資格を拡充して実施している。障害者雇用についての法定雇用率は、確保できているが、今後法定雇用率も少しずつ上昇するので、正規職員だけでなく会計年度任用職員も含め雇用確保していく。

おでかけサポート事業

- 議 進捗状況と今後の取り組みは。
- 市 小野・広野地区に働きかけ、小野は令和元年度に実証実験を終え、令和3年度に自家用有償旅客運送を実施するため調整している。広野についても令和3年度に本格実施するため検討会を重ねている。今後、他の地域へも協力を呼び掛ける。

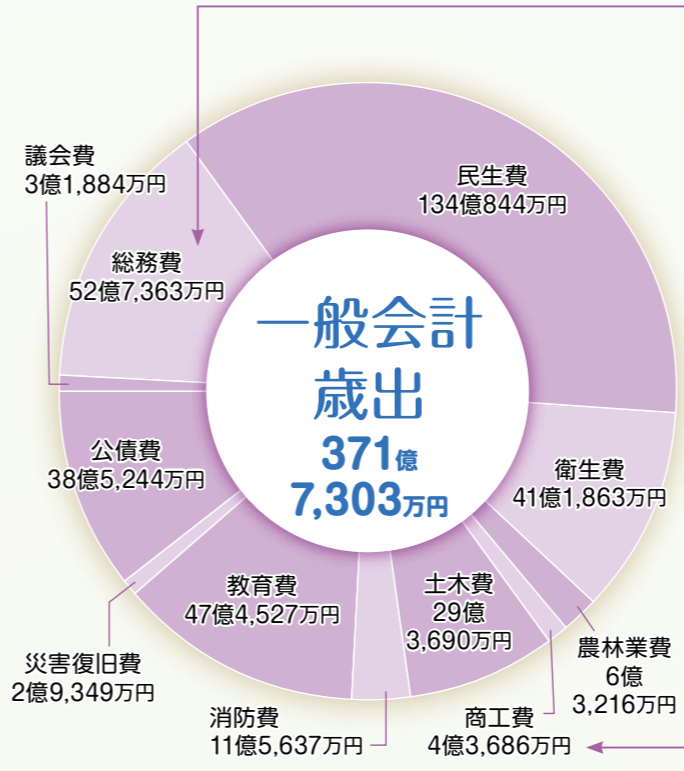
説明 * 自家用有償旅客運送: 既存のバス、タクシー事業者による輸送サービスが難しい場合、市町村やNPO等が自家用車を用いて有償で運送を可能にする制度。

AED

- 議 公共施設などにAEDが設置されているが、これから設置が必要な地域について、計画的に進めるべきと思うが。
- 市 市で設置している79か所を含め、現在、市内では256か所に設置されている。今後は、増設を検討していく上で民間事業者にも更に設置の協力をお願いしたい。

プレミアム付商品券

- 議 消費税増税に対する影響緩和のために、実施されたプレミアム付商品券発行事業だが、効果や検証結果はどうか。
- 市 対象者が限られていたため効果は限定的だったが、商品券により2億217万2千円の経済が市内で動いたことは成果であった。



市長へ審査報告書を提出

一般会計と特別会計の実質収支は黒字で一定評価できますが、今後歳入減少が見込まれる中、社会保障費や公共施設の維持管理費の増加、新型コロナウイルス感染症による収支両方への影響を考えると市の財政は厳しくなると予想されます。議会からは市に対し、引き続き安定した財政運営を求めた委員会審査報告書を9月定例会最終日に市長あてに提出しました。

企業会計 (独立採算による特定の事業を管理する会計)

| | 収入 | 支出 | 差引額 |
|----------|------------|------------|-----------|
| 市民病院事業会計 | 88億779万円 | 87億8,177万円 | 2,602万円 |
| 水道事業 | 28億5,811万円 | 23億7,053万円 | 4億8,758万円 |
| 下水道事業 | 27億5,365万円 | 27億6,681万円 | △1,316万円 |

下水道事業

- 議 決算は赤字だが、料金改定を行うなど、事業の見直しが必要では。
- 市 下水道事業会計の財政は非常に逼迫している。予定では、三田市下水道事業経営審議会から答申を受け、市の方針を決定した後、料金改定にかかる条例を上程したいと考えている。

特別会計 (事業目的を限定し、特定の歳入を特定の歳出に充てて管理する会計)

| | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|-----------|-------------|------------|-----------|
| 国民健康保険事業 | 100億1,874万円 | 98億5,286万円 | 1億6,588万円 |
| 農業共済事業 | 1億7,503万円 | 9,893万円 | 7,610万円 |
| 公営墓地整備事業 | 2,651万円 | 2,651万円 | 0 |
| 駐車場事業 | 8,946万円 | 6,455万円 | 2,491万円 |
| 介護保険事業 | 73億9,308万円 | 72億641万円 | 1億8,667万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 22億9,691万円 | 22億6,376万円 | 3,315万円 |

公営墓地整備事業

- 議 一般会計からの繰入金により実質収支を0にしているが、実態は赤字では。
- 市 当初、年間墓地管理料で賄える予定だったが、第2工区、第3工区墓地の整備ができていないため、赤字が続いている。しかし、令和2年度からの合葬墓の建設によって財政は健全化できる見込み。